



Performance in Fiscal 2017

お取引先への取り組み



APPROACH TO BUSINESS PARTNERS

日本化薬グループは2015年に購買理念と購買基本方針およびCSR調達ガイドラインを定めました。当社グループは、研究・開発から原材料の調達、製造、販売、物流までのサプライチェーンにおけるすべての段階においてサプライヤーの皆さまと一緒に安定調達や安定供給に努めることが重要であると認識しています。サプライヤーの皆さまと積極的にコミュニケーションをとり、法令遵守や人権尊重、労働安全衛生などに努めていきます。

グリーン調達の取り組み

機能化学品事業では、2007年11月にグリーン調達規程を制定して以来、製品に含有される化学物質の管理に取り組んできました。また、2018年4月1日には新たに発足した品質保証本部に化学物質管理部を設置し、事業本部の化学物質管理全般を統括する体制としました。

化学物質管理部では、グリーン調達の一環として『製品が含有化学物質に関する国内外法規制、業界基準及び顧客管理基準に適合するように、設計・開発、製造工程、サプライチェーン等における適切な管理を行うとともに、製品に含有する環境影響物質の削減・代替を推進する。』ことを製品含有化学物質管理方針として掲げ、工場とともに取り組んでいます。SVHC※をはじめとする環境や人の健康に悪影響を与える物質について管理基準を定め、当社製品への含有を自主的に管理しています。また、お客様各社のグリーン調達基準はデータベースにより関係者で共有し、お客様のニーズとして研究開発に反映していきます。



※SVHC（高懸念物質 Substances of Very High Concern）：
発がん性や生殖・発生毒性など各種毒性が懸念される物質として欧州化学品
が注視している物質

セイフティシステムズ事業 購買説明会の開催

セイフティシステムズ事業では、日頃お世話になっている協力会社を対象に、年に一度「購買説明会」を実施しています。これは、当社グループの業績見込みや次年度以降の事業計画、生産体制の現況、開発計画、中長期ビジョン、購買方針を説明し、これらを協力会社の事業計画の参考情報の一つとしていただくことを目的としています。

当社を含め自動車産業のサプライチェーンを担う協力会社は、めまぐるしく変化する国内・国際情勢、原材料相場、為替変動などの外的環境に即応しながら、顧客に遅延を起すことなく、高品質・低コストの製品を供給し続けなければなりません。この購買説明会が貴重な情報交換の場となるよう有益な情報を提供することを心がけています。

また、品質・コスト・納期に模範的な対応をとっていただいた協力会社に、「優秀協力会社賞」を進呈しています。

